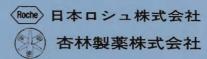


# 「使用上の注意」改訂のお知らせ

1993年3月



### 謹啓

先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。 平素は格別のご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます。 さて、このたび「使用上の注意」を裏面の通り改訂いたしましたので、 ご案内申し上げます。

敬 具

# チルコチル「使用上の注意」改訂

1993年3月

[改訂内容]

が改訂された内容です。

現 行	改訂後
2. 次の患者には投与しないこと。 (7)アスピリン喘息又はその既往歴のある患者	2. 次の患者には投与しないこと。 (7)アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛 剤等による喘息発作の誘発)又はその既往 歴のある患者
4. 副作用 (1)消化器:ときに消化性潰瘍が、またまれに 胃腸出血があらわれることがあるので、こ のような場合には投与を中止すること。ま たときに胃痛、胃部不快感、口内炎、悪心、 消化不良、下痢、腹痛、食欲不振、心窩部 痛、嘔吐、便秘、黒色便、腹部不快感、舌 炎等の症状があらわれることがある。	4. 副作用 (1)消化器: まれに消化性潰瘍、胃腸出血があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止すること。またときに胃痛、胃部不快感、口内炎、悪心、腹痛、食欲不振、また、まれに消化不良、下痢、心窩部痛、嘔吐、便秘、黒色便、腹部不快感、舌炎等の症状があらわれることがある。
(2) 過敏症:ときに発疹、瘙痒感、湿疹、紅斑等の症状があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	(2) 過敏症:ときに発疹、瘙痒感、また、まれ に湿疹、紅斑等の症状があらわれることが あるので、このような症状があらわれた場 合には投与を中止すること。
(3)精神神経系:ときにめまい、頭痛、眠気、 頭重感があらわれることがある。	(3)精神神経系:まれにめまい、頭痛、眠気、 頭重感があらわれることがある。
(4)感覚器:ときに耳鳴、しびれ感等の症状が あらわれることがある。	(4)感覚器:まれに耳鳴、しびれ感等の症状があらわれることがある。
(5)循環器:ときに心悸亢進等の症状があらわれることがある。	(5)循環器: まれに心悸亢進等の症状があらわれることがある。
(6)肝臓:ときにGOT、GPT、AI-Pの上昇が あらわれることがある。	(6) 肝臓:ときにGPTの上昇、また、まれにGOT、 Al-Pの上昇があらわれることがある。
(7) 腎臓:ときに BUN の上昇等があらわれる ことがある。	(7) 腎臓: まれにBUNの上昇等があらわれる ことがある。
(8)血液:ときにヘモグロビン減少、白血球減少、赤血球減少、血小板減少等があらわれることがある。	(8) 血液: まれにヘモグロビン減少、白血球減少、赤血球減少、血小板減少等があらわれることがある。
項目なし	5. 高齢者への投与 高齢者には慎重に投与すること (「一般的注 意」の項参照)。

#### [改訂理由]

2. (7)

厚生省薬務局安全課事務連絡(平成4年3月12日付)に基づく改訂 (非ステロイド性消炎鎮痛剤の使用上の注意の整備)

4. 副作用 (1)~(8)

使用成績調査(第5次)結果に基づく自主改訂

5

全医療用医薬品に対する行政指導(高齢者に対する使用上の注意の整備)に基づく改訂

#### 日本ロシュ株式会社